



年 組 名前

道新で ワークシート

正しい情報入手／ラインの使い方

ネットの注意点教材に

岩見沢市教委 小学校に来月導入

【岩見沢】市教委は4月から、インターネットを利用する際の注意点を学ぶ独自教材の一部の小学校に導入する。ネット上で正しい情報を入力する方法や、無料通信アプリLINE（ライン）での適切な発信の仕方を理解してもらおう狙いで、5年生の道徳の授業で活用する。

教材は、情報入手については資料作成ソフト「パワーポイント」を使用。視点を交えて情報の真偽を確かめる大切さをスライド形式で分かりやすく紹介する。

ラインの使い方では、ラインの画面を模したシートと、ふきだしの形をした会話カードを組み合わせる方式を採用。カードには「テストでいい点を取った」「まじめだね」などと書かれ、人によっては褒め言葉ではなく嫌みと受け止める可能性もあることをグループで

話し合ってもらい、言葉遣いに注意を促す。

市教委などでつくる市青少年問題協議会が作成に協力。同協議会は中央小の児童を対象に、3年前からラインや会員制交流サイト（SNS）を利用する際の注意点などを学ぶワークショップを開催し、教材に盛り込む内容や指導方法を研究してきた。

ワークショップで講師を務め、教材を監修した札幌大谷大の丸山宏昌講師（情報学）は、「講義形式で一方的に聞くのではなく、仲間同士で考えて学べるよう工夫した」と語る。市教委は、スマートフォン所持やラインなどの利用が低年齢化しているとして、「子どもがトラブルに巻き込まれないために、教材の試行錯誤を続けたい」と話している。

(梶原康生)

2020年3月11日（水） 朝刊 空知 16P（記事は一部再編集しています）

- ①岩見沢市教委（教育委員会）が、正しい情報の入手について子どもたちに伝えたいことを十九字で探し、始めの五字を書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- ②ラインを使う際に言葉遣いに注意を促すとあるが、その理由を表す部分を三十字で探し、始めの五字を書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- ③次の会話はトークアプリでのトラブルを再現したものです。「何で行くの？」という発言は言葉が足りず、相手に不快な思いをさせてしまいます。この発言を『バス』と『電車』という言葉で補い、不快な思いをさせないように書きかえなさい。

